

## 1 調査の概要

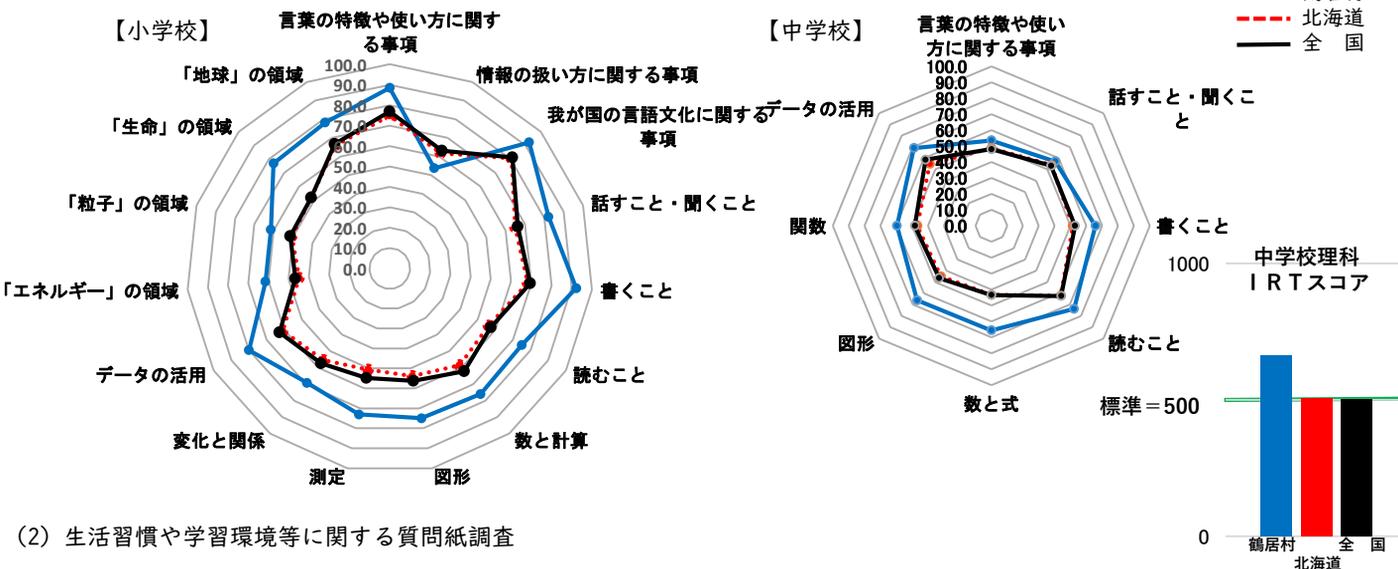
調査の目的	学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
調査の対象	小学校第6学年児童（鶴居村13人） 中学校第3学年生徒（鶴居村14人）
調査の内容	<p>■教科に関する調査《国語、算数・数学、理科》                  次の①②を一体的に問う調査問題                  ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等                  ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 等</p> <p>■生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査                  ①児童生徒に対する調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査                  ②学校に対する調査 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査</p>
調査実施日	令和7年4月17日（木）

## 2 調査結果の概要

### (1) 教科に関する調査

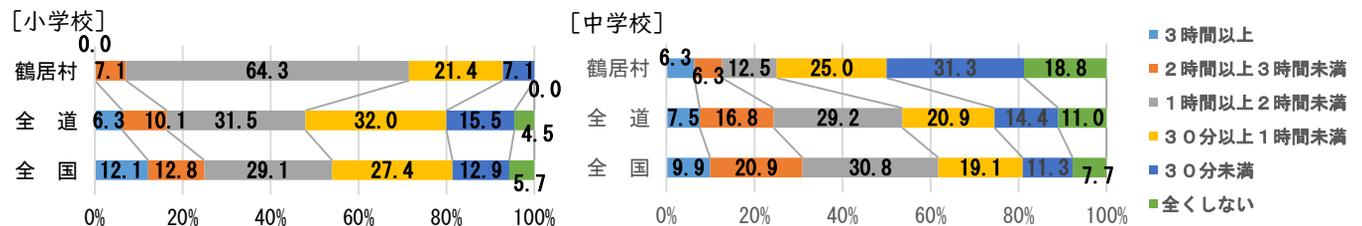
結果の概要：平均正答率は、小学校、中学校ともに全教科で全国・全道の平均を上回っている。

《教科の領域別に全国の平均正答率を100とした場合の状況》

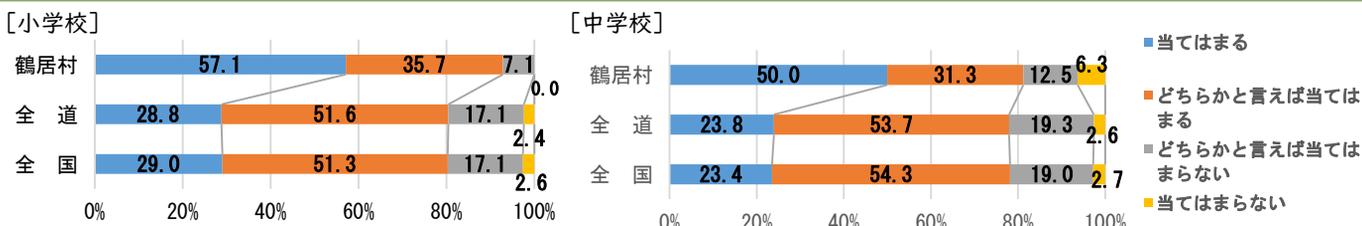


### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

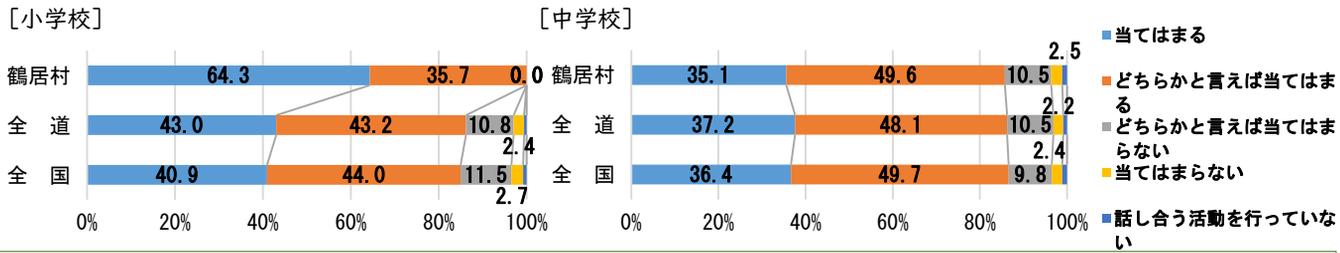
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師の先生に教わっている時間などを含む。）



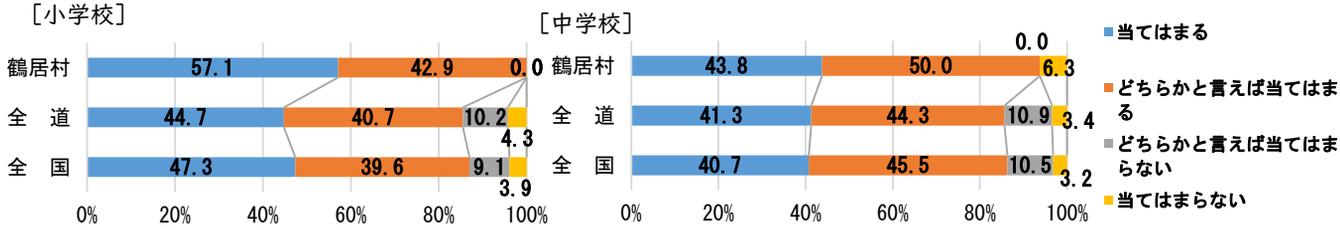
5年生までに（中1・2年生のときに）受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



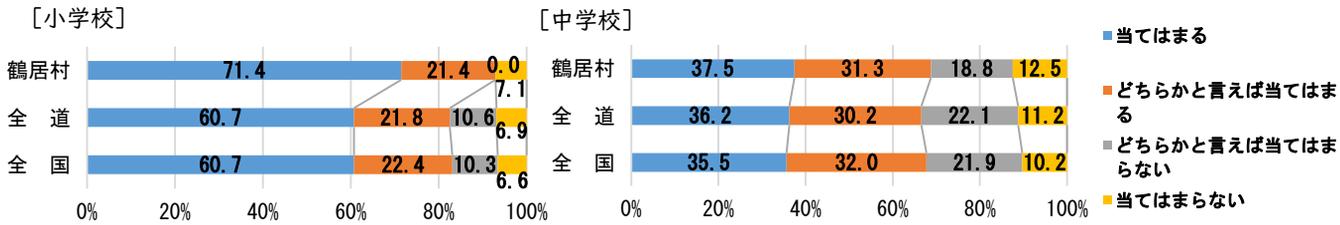
学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。



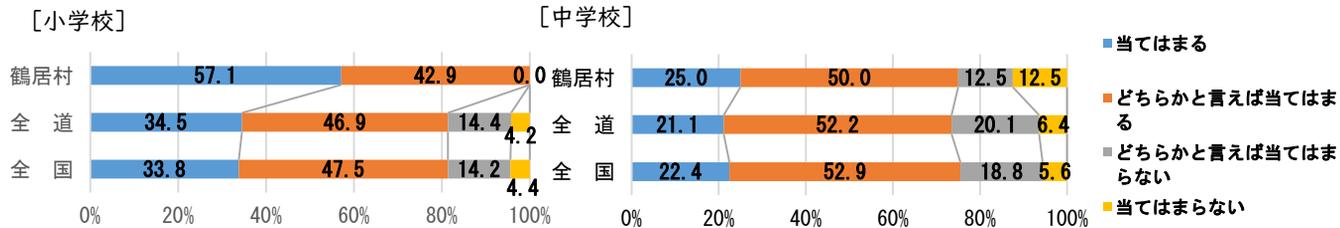
自分には、よいところがあると思いますか。



将来の夢や目標をもっていますか。



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



### 3 調査後の対応

○ 各学校では、これまで、調査結果等を活用した検証改善サイクルの確立、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、望ましい生活習慣の確立に向けた取組を着実に進めている。

既に、今年度の調査結果を詳細に分析するとともに、課題への補足的対応や更なる授業改善などの取組を進めており、特に、定着に課題のある領域については、個別の支援にも取り組んでいる。

○ 村教委としては、指導方法や教材等の工夫、授業改善、学習規律の継続、ICTの活用など、小学校・中学校9年間を見通した教育活動の充実が図られるよう、引き続き、各校に指導・助言していく。

○ 望ましい生活習慣や学習習慣の確立に向けて、今後とも、学校・家庭・地域・行政が連携して取り組んでいく。